

じゅ ぎょう ちゅう
授業中、
ほう か ご
放課後..

えいが がっこう じょうえいかい
●映画「バベルの学校」上映会

がいこく わかももの たいけんだん
●外国につながる若者による体験談

しゅさい たぶんか かわさきやくしよ
主催:多文化コミュニティひろば(川崎区役所)

ざ りっと ゼーン びさいど
The Lit Zone Beside(リットゾーン)

きょうさい しゃかいふくしほうじんせいきゅうしゃ
共催:社会福祉法人青丘社

2026.1.17 Sat.(土)14:00~16:30

もう こ
お申し込み



ていいん めい
定員:50名

ばしょ たぶんかきょうせい かわさきやくしよみなみちようしゃ
場所:かわさき多文化共生プラザ(川崎市役所南庁舎)

かわさきしかわさきくわがしだちよう
川崎市川崎区東田町5-4



趣旨

神奈川県にある日本語指導が必要な児童生徒が、全国で愛知県に次いで2番目に多いなかで、川崎市立の小中学校にいる外国人児童生徒の5割弱が川崎区に通っている。

外国につながる児童生徒にとって、学校で日々にある新たなさまざまな課題を一つずつ直面しなければならない。ときに迷い、ときに悩む彼ら、彼女らを理解したうえで、課題解決に向けてともに考えていく機会になればと考えている。

まず映画を鑑賞し、そして実際に外国につながる若者の当事者によるパネルディスカッションを聞き、私たちの明日からできることを考えていこう！



映画のあらすじ

舞台はパリの中学校。

世界の縮図のようなクラスが

1年後にたどりつく先は…？

24人の生徒、20の国籍、24のストーリー。

フランス中を感動に包んだドキュメンタリー。

アイルランド、セネガル、ブラジル、モロッコ、中国…。世界中から11歳から15歳の子どもたちがフランスにやって来た。

これから1年間、パリ市内にある中学校の同じ適応クラスで一緒に過ごすことになる。

24名の生徒、20の国籍…。この世界の縮図のような多文化学級で、フランスで新生活を始めたばかりの十代の彼らが見せてくれる無邪気さ、熱意、そして悩み。果たして宗教の違いや国籍の違いを乗り越えて友情を育む



プログラム

- 14:00～14:05 開会の挨拶
- 14:05～14:10 映画紹介
- 14:10～15:40 映画鑑賞「バベルの学校」
- 15:40～15:45 休憩
- 15:45～16:15 パネルディスカッション
- 16:15～16:25 感想共有
- 16:25～16:30 終わりに



司会



何玉萍(カ ユウピン)

The Lit Zone Beside(リットゾーン)

メンバー

中国四川省出身。2017年来日。その後、神奈川県立大師高校入学。現在は大学生として川崎市ふれあい館のフリースクールで外国につながる学齢超過の子どもたちに日本語や教科を教えている。また、母校である大師高校で後輩へのサポート活動もしている。



ゲスト



宮城 ユカリ

日系ブラジルルーツ。

外国につながる若者団体「COLORS」

メンバー、社会福祉士

ブラジル生まれ、8歳で来日。日本の公立校で学び、大学では多文化共生を学び、様々なボランティアグループで外国ルーツの子どもたちの学習支援やイベント運営などにも携わった。

外国人高齢者の支援、福祉分野の支援にも関心を持ち、卒業後はその関連の仕事をしている。2025年に社会福祉士を取得し、地域福祉に携わっている。

高校3年生から所属している外国につながる若者グループCOLORSは今年で10年目。



山崎ラジャンバレンシア

認定NPO法人多文化共生教育

ネットワークかながわ理事

フィリピンとインドにルーツを持ち、フィリピンで生まれ、中学2年で来日。在県枠を利用して高校に進学し、その後、神奈川大学に進学して情報科学を学び、多文化ユースプロジェクトでは副代表として活動。現在は、エンジニアとして勤務しながら、ME-net理事として年2回の高校生が集う「オルタボイス」や、高校進学ガイダンス用の多言語ページのシステム開発にも取り組んでいる。また、高校生の学習支援も行っている。